



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 366

令和7年9月30日（火）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141



よい授業は教師の笑顔から

校長 後藤 正美

9月24日（水）に、複数名の外部講師をお招きして授業研修会を実施いたしました。見附小学校は、戦後間もない頃から、よりよい授業を目指して中越地区の研修をリードしてきた研究校です。現在の職員にも、経験年数に関係なく互いに学び合う風土が受け継がれています。この日も4年1組の授業を全職員が参観し、算数授業の在り方を学び合いました。

「算数好きの子を育てるにはどうすべきなのか。」

「次代を生き抜く資質・能力を育てるには、どのような授業が求められるのか。」

4年生の学ぶ姿を基に、研修を深めることができました。

この日の授業は、「分配・結合・交換」の法則を用いて、「 18×5 」を簡単に計算するという学習問題の場面でした。この難しそうな問題の、どこが愉しいのか不思議に思いますよね。ところが、最後まで子供たちの声と笑顔で、実に活気あふれた授業だったのです。授業者も笑顔で授業を行い、算数の世界へ引き込む姿に、職員一同大きな学びと刺激を受けました。見附小では、算数好きを育てることで、結果的に学力向上にもつながるような授業を目指しています。4年生以外の子供たちへも、今回の研修成果をしっかりと返していきます。

先月、全国学力学習状況調査の結果が発表されました。ピース学年の子は、国語、算数、理科のすべてで、県や全国の平均正答率を上回りました。見小っ子の6年生が、毎年全国平均を上回ることができているのは、低学年からの積み重ねの結果と言えます。今年度、特に成果が感じられたのは以下の項目です。

- ・「記述式」の正答率が、国語や算数で全国や県の結果を大きく上回っている。
- ・「先生は分かるまで教えてください」の肯定的評価が9割を超えている。

一問一答の答えだけでなく、言葉で考え方を述べる問題でも、あきらめない姿勢が伺えます。もちろんこうした結果は集団としての平均値であり、私たちが大切にしているのは、あくまで一人一人の成長です。

10月18日（土）の「N-waku」研修会でも、楽しい授業について、県内の先生方と交流を深めたいと思います。子供たちの積極的な参加をお待ちしています。